

# 第2次小樽市健康増進計画「第2次健康おたる21」

## 平成25年度事業評価及び平成26年度事業計画

平成26年5月

小樽市保健所

## 目 次

1	第2次健康おたる21普及・啓発	3
2	地域連携によるがん検診の普及啓発推進	4
3	地域連携による特定健康診査・特定保健指導の普及啓発推進	7
4	血圧自己測定推進	9
5	ウォーキングの推進	11
6	おいしい空気の施設推進	14
7	禁煙達成者の支援	16
8	ヘルシーメニュー事業	17
9	毎日朝食をとる、家族の誰かと一緒に朝食をとる	19
10	栄養成分表示の店推進	20
11	食事バランスガイド活用の推進	21
12	悩みの相談窓口の周知啓発推進	22
13	効果的な歯みがきの普及	24
14	歯周病セルフチェックの普及	25
15	むし歯のない3歳児を増やす	26
16	思春期の健康教育推進	28
17	麻しんワクチン接種の推進	29
18	チャレンジ健康クイズ	32
19	前期計画策定シート	33

1 第2次健康おたる21普及・啓発

【平成25年度評価】

施 策	第2次健康おたる21普及啓発活動
事業名	第2次健康おたる21普及啓発活動
内 容	各分野における健康教育及び各種媒体を通じて、随時、普及啓発を実施する。
事業評価 の視点	各分野における健康教育及び各種媒体を通じて、随時、普及啓発を実施する 方法：健康教育等において計画概要版の配布や計画推進施策について周知啓発する。 到達度：普及啓発数3,000人
実績 評価	各分野における健康教育等による普及・啓発を行った。 97回、3,034人 ほぼ目標を達成することができた。

【平成26年度計画】

施 策	第2次健康おたる21普及啓発活動
事業名	第2次健康おたる21普及啓発活動
内 容	1 各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る 2 計画概要版の増刷2,000枚
評価 指標	市民や関係者への健康教育等での普及啓発数3,000人
事業評価 の視点	各分野における健康教育及び各種媒体を通じて、随時、普及啓発を実施する 方法：健康教育等において計画概要版の配布や計画推進施策について周知啓発する 到達度：普及啓発数3,000人 対象：これまで普及啓発をしてこなかった団体等

## 2 地域連携によるがん検診の普及・啓発

### 【平成 25 年度実績】

施 策	がん・循環器疾患・糖尿病領域
事業名	地域連携によるがん検診普及啓発推進事業
内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療機関連携による受診勧奨</li> <li>2 職域連携による受診率向上</li> <li>3 各団体との連携</li> <li>4 健康教育による受診勧奨</li> <li>5 町内会館等での特定健診との同時実施による受診率向上</li> <li>6 効果的な周知方法を検討し、様々な機会を活用した周知啓発の実施</li> </ol>
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療機関連携による受診勧奨について            時期：9月がん征圧月間にあわせて            場所：受診勧奨における連携を検討            目標：医療機関との連携のもとがん検診受診率向上に努める。            受診者数：各種がん検診の9月受診数前年度比20%増            到達度：各種がん検診の受診率向上</li> <li>2 職域連携による受診率向上            時期：職域での健康セミナー等の開催にあわせて実施            場所：健康セミナー開催会場等            目標：職域との連携のもとがん検診受診率向上が図られる            到達目標：各種がん検診の受診率向上</li> <li>3 各団体との連携について            時期：9月がん征圧月間にあわせて実施            場所：9月8日の市民団体主催のスポーツフェスティバルによる肺がん検診の実施            スタッフ：保健師2人（健康相談コーナー）            目標：スポーツフェスティバル参加者が肺がん検診を受診できる            受診者数：参加者1,000人中200人程度            到達目標：肺がん検診の受診率向上</li> <li>4 健康教育による受診勧奨            時期：5月、10月の市民団体主催のがん予防普及啓発イベント            場所：市内大型商業施設            スタッフ：保健師2人（健康相談コーナー、講話）            目標：市民団体との連携のもと、女性のがん検診を中心に普及啓発を行う。            参加者数：100名            達成目標：女性のがん検診について必要性及び受診の方法について理解を深める。</li> <li>5 町内会館等身近な場所での特定健診と同時実施によるがん検診受診率向上            時期：町内会館等での特定健診実施にあわせて実施</li> </ol>

	<p>場所：特定健診を実施する町内会館等          スタッフ：検診センター職員等          目標：町内会館等身近な場所において、特定健診とがん検診を同時に受診する市民の増加          達成目標：胃、肺、大腸がん検診の受診率の向上</p> <p>6 有効な周知方法の検討及び多様な機会を活用した周知啓発の実施          方法：市民の健康情報収集調査の実施          市民団体のネットワーク等を活用した周知啓発          場所：多様な機会を活用した周知啓発の実施          目標：市民団体のネットワーク等を活用し、がん検診の必要性和受診方法について広く周知啓発を行う。          到達目標：市民自らが、がん検診の必要性を理解し受診行動がとれる</p>
実績評価	<p>1 医療機関連携については、平成 25 年度に調査した「保健所の健康情報意識調査」の結果を踏まえ、26 年度から具体的な方策を検討する</p> <p>2 職域連携によるがん検診普及啓発を目的とした健康教育の実施数 1 か所 70 人</p> <p>3 各団体との連携として、10 月スポーツフェスティバルにおける肺がん検診実施数 20 人          生活支援課学習会においてケースワーカー 30 人ががん検診について説明し、保護世帯へのがん検診普及啓発リーフレット 3,000 枚の配布を依頼</p> <p>4 健康教育による受診勧奨数 7 か所 241 人</p> <p>5 特定健診と同時実施によるがん検診受診率向上については、今年度、新規で銭函市民センターにおいて特定健診及びがん検診を実施</p>

【平成 26 年度計画】

施策	がん・循環器疾患・糖尿病領域
事業名	地域連携によるがん検診普及啓発推進事業
内容	<p>1 医療機関連携による受診勧奨の方策について検討</p> <p>2 職域連携による受診率向上</p> <p>3 各団体との連携</p> <p>4 健康教育による受診勧奨</p>
評価指標	各がん検診の受診率の向上
事業評価の視点	<p>1 医療機関連携による受診勧奨の方策について検討          内容：市民の健康情報調査の結果をもとに、医療機関の医師や看護師、調剤薬局の薬剤師との連携について検討する          到達度：具体的な連携方法について検討できる</p> <p>2 職域連携による受診率向上</p>

	<p>時期：企業等の健康セミナー開催にあわせて</p> <p>場所：健康セミナー会場</p> <p>目標：企業等との連携のもとがん検診受診率向上が図られる</p> <p>到達目標：各種がん検診の受診率向上</p> <p>3 各団体との連携について</p> <p>時期：10月スポーツフェスティバル開催時</p> <p>場所：スポーツフェスティバルによる肺がん検診の実施</p> <p>目標：スポーツフェスティバル参加者が肺がん検診を受診できる</p> <p>受診者数：参加者1,000人中40人程度</p> <p>到達目標：肺がん検診の受診率向上</p> <p>4 健康教育による受診勧奨</p> <p>時期：5月、10月がん予防普及啓発団体のイベント</p> <p>場所：市内大型商業施設</p> <p>目標：がん検診の普及啓発が行う</p> <p>参加者数：100名</p> <p>達成目標：がん検診受診率向上</p>
--	---

### 3 地域連携による特定健診・特定保健指導の普及啓発の推進

#### 【平成 25 年度計画】

施 策	地域連携による特定健診・特定保健指導の普及啓発推進
事業名	地域連携による特定健診・特定保健指導の普及啓発推進事業
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療機関連携における受診勧奨の方法を検討</li> <li>2 町内会館等でのがん検診との同時実施による受診率向上</li> <li>3 プログラムの充実による特定保健指導実施率の向上</li> </ol>
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療機関連携における受診勧奨の方法を検討            方法：医療機関とともに通院者などを対象とした新たな受診勧奨の方法を検討            目標：医療機関との連携のもと特定健診受診率向上が図られる            到達度：特定健診の受診率向上</li> <li>2 町内会館等でのがん検診との同時実施による受診率向上            時期：町内会館等でのがん検診実施期間            場所：市内大型商業施設、市役所、町内会館            目標：町内会館等身近な場所において、がん検診と特定健診を同時に受診する市民の増加            受診者数：前年度受診者数より増加            到達目標：特定健診の受診率向上</li> <li>3 動機づけ支援プログラムの充実による特定保健指導実施率の向上            時期：通年            場所：保健所            スタッフ：保健師 2 人、ウォーキングサポーター（市民ボランティア）1 人            目標：ウォーキングサポーターとの連携のもとウォーキング講座を追加することで、動機づけ支援プログラムの充実が図られ特定保健指導実施率が向上する            実施者数：前年度動機づけ支援実施者数より増加            到達目標：特定保健指導実施率向上</li> </ol>
実績 評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療機関連携については、平成 25 年度に調査した「保健所の健康情報意識調査」の結果を踏まえ、26 年度から具体的な方策を検討する</li> <li>2 がん検診と同時実施による特定健診受診率向上については、今年度、新規で銭函市民センターにおいて特定健診及びがん検診を実施した</li> <li>3 特定保健指導実施率 17.2%（前年比 0.7 ポイント減）※法定報告とは一致せず</li> </ol>

【平成 26 年度計画】

施 策	地域連携による特定健診・特定保健指導の普及啓発推進
事業名	地域連携による特定健診・特定保健指導の普及啓発推進事業
事業費	健康診査事業費（特定保健指導、特定健康相談）
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療機関連携による特定健診受診勧奨の方策について検討</li> <li>2 町内会館等でのがん検診との同時実施による受診率向上</li> <li>3 プログラムの充実による特定保健指導実施率の向上</li> </ol>
評価指標	特定健診受診率及び特定保健指導利用率の増加
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療機関連携による受診勧奨の方策について検討            内容：市民の健康情報調査の結果をもとに、医療機関の医師や看護師、調剤薬局の薬剤師との連携について検討する            到達度：具体的な連携方法について検討できる</li> <li>2 町内会館等でのがん検診との同時実施による受診率向上            時期：通年            場所：市役所、町内会館等            目標：町内会館等身近な場所において、がん検診と特定健診を同時に受診する市民の増加            到達目標：特定健診の受診率向上</li> <li>3 動機づけ支援プログラムの充実による特定保健指導実施率の向上            内容：動機づけ支援プログラムは、集団支援を終了し個別のニーズに対応するため、保健師による訪問支援型で実施する            積極的支援については、運動施設委託型及び保健所来所型を継続する            到達目標：特定保健指導実施率向上</li> </ol>



#### 4 血圧の自己測定の推進

【平成 25 年度評価】

施 策	血圧自己測定推進
事業名	血圧自己測定推進事業
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市民への健康教育の実施</li> <li>2 職域連携による普及啓発</li> <li>3 健康クイズの実施</li> <li>4 血圧自己測定推進ポスターの作成・配布</li> </ol>
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市民への健康教育の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>目的：市民が血圧測定の正しい知識を得られ、自身の健康管理について主体的に取り組むことができる</li> <li>内容：健康教育において、健康クイズを活用し積極的に血圧測定の正しい知識の普及・自己測定の推進を行う</li> <li>対象：依頼のあった町内会、施設、企業、団体等</li> <li>参加数：延 2,200 名（予定）</li> <li>到達度：健康教育及び健康クイズの参加者数の増加、アンケートにおける自宅での血圧測定者の増加</li> </ul> </li> <li>2 職域連携による普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>時期：職域における健康セミナー等の開催に合わせて</li> <li>場所：健康セミナー等開催会場</li> <li>目的：働く世代からの健康管理の一環として、血圧に関する正しい知識普及及び血圧自己測定の有用性の認識向上を図る</li> <li>対象：働く世代</li> <li>到達度：健康教育及び健康クイズの参加者数の増加、アンケートにおける自宅での血圧測定者の増加</li> </ul> </li> <li>3 健康クイズの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>時期：9 月開催の小樽市健康セミナーにあわせて</li> <li>場所：マリンホール</li> <li>目的：アンケートと共に健康クイズを実施するこしで、市民が血圧測定の正しい知識を得て、血圧自己測定に対する意識向上が図られる</li> <li>対象：市民 200 名程度</li> <li>到達度：参加者数</li> </ul> </li> <li>4 血圧自己測定推進ポスターの作成・配布 <ul style="list-style-type: none"> <li>時期：4～5 月頃</li> <li>目的：企業に血圧自己測定ポスターを送付することで、正しい測定方法を普及し職場の健康管理に役立ててもらうことを目的とする</li> <li>内容：健康教育の案内と一緒に同封し郵送及び希望する市民に配布する</li> <li>対象：市内 1,500 企業</li> </ul> </li> </ol>

実績 評価	<p>1 市民への血圧自己測定推進のための健康教育の実施数 31 回 803 人 血圧自己測定している者の割合 66.2%（健康教育終了アンケート実施者数 86 人/130 人）</p> <p>2 職域連携による普及啓発数 8 か所 211 人</p> <p>3 健康セミナーにおける健康クイズの実施 75 人</p> <p>4 血圧自己測定推進ポスターの作成・配布 611 か所 （大学、介護施設、ホテル、銀行、理美容、町内会等）</p>
----------	--

【平成 26 年度計画】

施 策	血圧自己測定推進
事業名	血圧自己測定推進事業
内容	<p>1 市民への健康教育の実施</p> <p>2 健康相談、健康教育・各種イベント等における啓発リーフレットの配布</p> <p>3 特定保健指導、特定健康相談で勧奨</p>
評価指標	市民や関係団体への啓発リーフレットの配布数 2,000 枚
事業評価 の視点	<p>1 市民への健康教育の実施 目的：市民が血圧測定の正しい知識を得られ、自身の健康管理について主体的に取り組むことができる 内容：健康教育において、健康クイズを活用し積極的に血圧測定 of 正しい知識の普及・自己測定 of 推進を行う 対象：依頼のあった町内会、施設、企業、団体等 参加数：延 800 人 到達度：健康教育及び健康クイズの参加者数の増加、アンケートにおける自宅での血圧測定者の増加</p> <p>2 啓発リーフレットの配布 目的：血圧自己測定 of 必要性について広く周知啓発することで、体調管理に取組むきっかけづくりとする。 内容：健康相談、健康教育・各種イベント等において啓発リーフレットを配布 （配布予定イベント）5 月母の日及び看護の日イベント 10 月体育フェスティバル及びピンクリボンセミナー 配布数：1,000 枚 到達度：啓発リーフレットの配布数の増加</p> <p>3 特定保健指導、特定健康相談で勧奨 目的：特定保健指導、特定健康相談対象者が、血圧測定 of 正しい知識が得られ、自身の健康管理について主体的に取り組むことで将来の生活習慣病を予防する 実施数：特定保健指導 150 人、特定健康相談 100 人</p>

5 ウォーキングの推進

【平成 25 年度評価】

施 策	ウォーキングの推進
事業名	小樽健康づくりウォーキング推進事業
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ウォーキングサポーター養成講座</li> <li>2 ウォーキングサポーターフォローアップ研修</li> <li>3 市民への健康教育の実施</li> <li>4 職域連携による普及啓発</li> <li>5 普及啓発セミナーの開催</li> <li>6 特定保健指導におけるウォーキングの推進</li> </ol>
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ウォーキングサポーター養成講座            時期：5月～6月、全5回            目的：ウォーキング及びノルディックウォーキングを普及する人材となるウォーキングサポーターを養成する            会場：保健所講堂及び小樽公園、なえぼ公園            内容：講義及び実技指導を行う            定員：市民20名</li> <li>2 ウォーキングサポーターフォローアップ研修            時期：5月、12月            目的：ウォーキングサポーターの知識及び技能の質を平準化、スキルアップを図る            会場：保健所及び小樽公園            内容：講義及び実技指導            対象数：ウォーキングサポーター28名</li> <li>3 市民への健康教育の実施            目的：ウォーキングに関する正しい知識を持つ市民の増加及び定期的なウォーキング習慣を持つ市民の増加を目指す            内容：ウォーキングサポーターが地域に出向き、ウォーキング及びノルディックウォーキングの正しい知識・技術の普及を行う            対象：依頼のあった町内会、施設、企業、団体等・・・参加者延1,200名（見込み）            到達度：健康教育の参加者数の増加</li> <li>4 職域連携による普及啓発            時期：職域健康セミナー等の開催に合わせて            場所：健康セミナー開催会場            目的：働く世代からの定期的な運動習慣の必要性について、ウォーキングを通じた普及啓発を図る。</li> </ol>

	<p>対象：働く世代 到達度：参加者数の増加</p> <p>5 啓発セミナーの開催 時期：9月開催の小樽市健康セミナーに合わせて 場所：マリンホール 目的：市民向けにウォーキングに関するセミナーを開催することで、ウォーキングを通じた定期的な運動習慣の必要性を広く市民に周知啓発する 対象：市民200名程度 到達度：参加者数及びアンケートによる理解度の評価</p> <p>6 特定保健指導におけるウォーキングの推進 内容：小樽市国保加入者の特定保健指導で、正しいウォーキングの知識、技術の指導を行う 場所：保健所講堂 目的：ウォーキングをきっかけに、定期的な運動習慣の確立を図ることで、生活習慣病予防と重症化予防 対象：小樽市国保加入者のうち特定保健指導（動機づけ支援）の対象者 …年間150人（見込み） 到達度：動機づけ支援実施率の向上</p>
実績 評価	<p>1 ウォーキングサポーター養成数19人（延45人） 2 認定更新研修及びフォローアップ研修各1回実施（参加数：認定更新研修24人、フォローアップ研修34人） 3 普及啓発延数 138回2,208人（ウォーキングサポーター活動数425人） 4 職域への普及啓発数8か所211人 5 マリンホールでの普及啓発セミナーについては、開催テーマの違いにより実施していないが、健康教育において企業への普及啓発は実施 6 特定保健指導実施率17.2%（前年比0.7ポイント減）※法定報告とは一致せず</p>

【平成 26 年度計画】

施 策	ウォーキングの推進
事業名	小樽健康づくりウォーキング推進事業
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ウォーキングサポーター養成講座</li> <li>2 ウォーキングサポーターフォローアップ研修</li> <li>3 市民への健康教育の実施</li> <li>4 職域連携による普及啓発</li> </ol>
評価 指標	ウォーキングサポーター養成数（累計数）63 名
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ウォーキングサポーター養成講座            時期：5月～6月、全5回            目的：ウォーキング及びノルディックウォーキングを普及する人材となるウォーキングサポーターを養成する            会場：保健所講堂及び長橋なえぼ公園、小樽公園            内容：講義及び実技指導を行う            定員：市民 20 名（最大 23 名）</li> <li>2 ウォーキングサポーター認定更新研修及びフォローアップ研修            時期：5月、12月            目的：ウォーキングサポーターの知識及び技能の質を平準化、スキルアップを図る            会場：保健所講堂及び小樽公園            内容：講義及び実技指導            対象数：ウォーキングサポーター45 名</li> <li>3 市民への健康教育の実施            目的：ウォーキングに関する正しい知識を持つ市民の増加及び定期的なウォーキング習慣を持つ市民の増加を目指す            内容：直接地域に出向き、ウォーキング及びノルディックウォーキングの正しい知識・技術の普及を行う            対象：依頼のあった町内会、施設、企業、団体等 …延 2,100 名（見込）            到達度：健康教育の参加者数の増加</li> <li>4 職域連携による普及啓発            時期：職域での健康教育実施時に合わせて            場所：職場等            目的：働く世代からの定期的な運動習慣の必要性について、ウォーキングを通じた普及啓発を図る            対象：市内企業の従業員、関係団体            到達度：参加者数の増加</li> </ol>

7 おいしい空気の施設の推進

【平成 25 年度評価】

施 策	受動喫煙防止の推進
事業名	受動喫煙防止推進事業
内容	<p>1 おいしい空気の施設推進事業          対象：多数の者が利用する施設          方法：企業への健康教育実施時に登録をすすめる</p> <p>2 受動喫煙防止の環境づくり等の普及啓発</p>
事業評価 の視点	<p>1 おいしい空気の施設推進事業          時期：通年          場所：職域健康教育実施の機会に普及啓発を行う          目標：市内登録施設の増加          登録数：現行 66 か所→増加          到達度：登録施設の増加により受動喫煙防止を推進する</p> <p>2 受動喫煙防止の環境づくり等の普及啓発          各種健康教育、その他関連事業などをおしてガイドラインも活用し、普及啓発を図る。</p>
実績 評価	<p>1 小樽市医師会との連携により市内医療機関のおいしい空気の施設登録数は、78 か所に増加した。</p> <p>2 受動喫煙防止等の普及啓発については、ガイドラインの見直しを行うとともに、「広報おたる」への特集記事の掲載をおこない周知に努めた。受動喫煙防止等の普及啓発数 7 か所 241 人</p>

【平成 26 年度計画】

施 策	受動喫煙防止の推進
事業名	受動喫煙防止推進事業
内容	1 おいしい空気の施設推進事業 2 受動喫煙防止の環境づくり等の普及啓発
評価指標	おいしい空気の施設登録数 150 か所
事業評価 の視点	<p>【評価の視点】</p> <p>1 おいしい空気の施設推進事業          時期：5月          対象：市内調剤薬局 80 か所          スタッフ：保健師 1 人          目標：市内調剤薬局登録数の増加          登録数：現行 78 か所→150 か所          到達度：登録施設の増加</p> <p>2 受動喫煙防止の環境づくり等の普及啓発          次期：5月          方法：受動喫煙防止に関するポスターを作成し、市内関係機関へ配布するとともに、「広報おたる」へ特集記事を掲載し、広く周知に努める          到達目標：ポスター配布 600 か所</p>

## 7 禁煙支援

### 【平成 25 年度評価】

施 策	禁煙の支援
事業名	禁煙宣言プロジェクト事業
内容	医療機関と連携により、禁煙宣言登録を増加させ、禁煙を決意した市民への支援を行う
事業評価 の視点	時期：通年 場所：保健所 連携団体：市内禁煙外来を持つ医療機関と薬局 関係団体への依頼手順を検討 周知：ポスター、ちらし配布枚数 禁煙宣言登録者数
実績評価	禁煙宣言登録数 12 件 （H26 年度末） 参考：昨年 1 年間の禁煙外来受診者数は 137 名

### 【平成 26 年度計画】

施 策	禁煙の支援
事業名	禁煙宣言プロジェクト事業
内容	【平成 26 年度実施予定計画】 周知：ポスター、チラシ等作成し関連団体等へ配布 ホームページ内容検討 広報おたる特集 時期：5～6 月
評価指標	禁煙宣言登録者数
事業評価 の視点 予算	時期：通年 対象：市民特に禁煙外来受診者 ポスター配布：関連団体等への配布 ちらし配布方法：ポスターと同時に配布する以外に、禁煙外来へ持参する ポスター、ちらし配布枚数 （ポスター 182 枚、 ちらし 4,000 枚） 禁煙宣言登録者数の増加



8 ヘルシーメニュー

【平成 25 年度評価】

施 策	食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店などの登録件数の増加
事業名	「おたる・ヘルシーメニュー」事業
事業費	栄養改善対策費
内容	<p>市内飲食店などにおいて1食当たり下記のメニューを提供する登録店を増やし、食事療法中の方や、生活習慣病予防に興味のある市民の方においしく、エネルギー等を心配せず安心して食べていただく環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おたる・スーパーヘルシーメニュー：エネルギー600kcal 食塩相当量 3g 以内</li> <li>・おたる・ヘルシーメニュー：エネルギー600 kcal 以内</li> <li>・おたる・ヘルシースイーツ：エネルギー100 kcal 以内</li> </ul> <p>事業整備：小樽市の実施要領（献立記入表等整備）等作成          事業周知：「おたる・ヘルシーメニュー」事業について関係団体等の協力を得て市内飲食店へ広く周知（広報おたる、HP、食品衛生協会総会・新年会、フードフェスティバル等）</p> <p>登録業務：登録希望店からの献立の栄養価計算実施          登録店 PR：登録店の周知（広報おたる、HP、健康教育にてリーフレット配布等）</p>
事業評価の視点	<p>目標：食事療法中の方や、生活習慣病予防に興味のある市民の方においしく、エネルギー等を心配せず安心して食べていただくお店を増やす。</p> <p>方法：関連団体等ヘルシーメニュー事業紹介          ヘルシーメニューの紹介：登録店の紹介リーフレット配布</p> <p>達成度：登録店の増加          ヘルシーメニューの増加や周知により、食事療法中の方はおいしく楽しく食事をする機会が増え、市民は生活習慣病予防を食生活から意識する機会が増える。</p>
実績評価	<p>登録店 5 件（おたる・ヘルシーメニュー 1 件、おたる・スーパーヘルシーメニュー 4 件）</p> <p>「おたる・ヘルシーメニュー」事業は、平成 25 年度 7 月より開始した。          事業開始後 1 年未満のため、事業周知、登録店周知に努めた。</p>

【平成 26 年度計画】

施 策	食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店などの登録件数の増加
事業名	「おたる・ヘルシーメニュー」事業
事業費	栄養改善対策費
内容	<p>市内飲食店などにおいて1食当たり下記のメニューを提供する登録店を増やし、食事療法中の方や、生活習慣病予防に興味のある市民の方においしく、エネルギー等を心配せず安心して食べていただくお店を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おたる・スーパーヘルシーメニュー：エネルギー600kcal 食塩相当量 3g 以内</li> <li>・おたる・ヘルシーメニュー：エネルギー600 kcal 以内</li> <li>・おたる・ヘルシースイーツ：エネルギー100 kcal 以内</li> </ul> <p>事業周知：「おたる・ヘルシーメニュー」事業について関係団体等の協力を得て 市内飲食店へ広く周知（広報おたる：特集記事掲載希望、HP 等） 小樽市食生活展などにおけるパネル展示</p> <p>登録業務：登録希望店からの献立の栄養価計算実施 登録店 PR：登録店の周知（広報おたる、HP、健康教育でリーフレットの配布等）</p>
評価指標	「おたる・ヘルシーメニュー」事業登録店数（合計）10 件
事業評価の視点	<p>目標：食事療法中の方や、生活習慣病予防に興味のある市民の方においしく、エネルギー等を心配せず安心して食べていただくお店を増やす。</p> <p>方法：「おたる・ヘルシーメニュー」事業紹介 「おたる・ヘルシーメニュー」の紹介</p> <p>達成度：登録店の増加</p>

9 毎日朝食をとる、家族の誰かと一緒に朝食をとる

【平成 25 年度評価】

施 策	毎日朝食をとる人の増加・家族の誰かと一緒に朝食をとる割合の増加（食育）
事業名	栄養改善事業
内 容	<p>1 キッズクッキング：対象 幼児・児童と保護者  方法 正しい知識の普及（講話・調理実習）  リーフレットを使用し正しい知識の普及  回数 年 4 回</p> <p>2 栄養相談：対象 乳幼児健診時の栄養相談  カンガルークラブ参加者の栄養相談  各種栄養改善事業参加者等の栄養相談  方法 リーフレット（食育だよりなど）を使用し正しい知識の普及  時期 通年</p> <p>3 その他：市内幼稚園・保育施設にリーフレット（食育だより）配布</p>
事業評価 の視点	<p>目標：正しい食習慣をもつ市民の増加  周知方法：正しい食習慣を周知するリーフレットを作成し配布・説明する。  達成目標：毎日朝食をとる人の増加 家族の誰かと一緒に朝食をとる人の増加</p>
実績 評価	<p>・正しい食習慣の周知リーフレット配布数：6,000 枚  適切な栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、全ての栄養改善事業と市内幼稚園、保育施設、健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対し配布した。</p>

【平成 26 年度計画】

施 策	毎日朝食をとる人の増加・家族の誰かと一緒に朝食をとる割合の増加（食育）
事業名	栄養改善事業
内 容	<p>1 キッズクッキング：対象 幼児・児童と保護者  方法 正しい知識の普及（講話・調理実習）  リーフレットを使用し正しい知識の普及  回数 年 4 回</p> <p>2 栄養相談：対象 乳幼児健診時の栄養相談  カンガルークラブ参加者の栄養相談  各種栄養改善事業参加者等の栄養相談  方法 リーフレット（食育だよりなど）を使用し正しい知識の普及  時期 通年</p>
評価指標	正しい食習慣の周知用リーフレット配布数：6,000 枚

事業評価 の視点	<p>目標：正しい食習慣をもつ市民が増加する</p> <p>周知方法：正しい食習慣を周知するリーフレットを作成し配布・説明する。</p> <p>達成目標：毎日朝食をとる人の増加 家族の誰かと一緒に朝食をとる人の増加</p>
-------------	---

## 10 栄養成分表示の店推進

### 【平成 25 年度評価】

施 策	「栄養成分表示の店」登録件数の増加（食育）
事業名	「栄養成分表示の店」推進事業
内 容	<p>食生活は多様化しており、健康を維持するには、家庭の食事だけではなく上手に          外食などを利用し食生活全体を管理することが大切である。よりよい食生活を選択          でき、健康管理を行うことができるよう、飲食店などのメニューに「栄養成分表示」          をしてもらい、外食利用者が適切な栄養情報を得ることができる環境整備を目的に          「栄養成分表示の店」の登録推進を行う。</p> <p>①「栄養成分表示の店」推進事業の周知（HP 等）</p> <p>②登録業務：登録希望店から提出された届出書・栄養算定表・栄養表示例を確認          登録公表（HP 掲載、ステッカー発行）</p>
事業評価 の視点	<p>目標：市民の快適な食生活や良好な健康づくりの環境整備ができる。</p> <p>登録数：56 件（登録店を小樽市 HP、北海道 HP にて紹介）</p> <p>達成度：登録店の増加</p>
実績 評価	・登録店 56 件

### 【平成 26 年度計画】

施 策	「栄養成分表示の店」登録件数の増加（食育）
事業名	「栄養成分表示の店」推進事業
内 容	<p>食生活は多様化しており、健康を維持するには、家庭の食事だけではなく上手に          外食などを利用し食生活の全体を管理することが大切になっている。よりよい食生          活を選択でき、健康管理を行うことができるよう、飲食店などのメニューに「栄養          成分表示」をもらい、外食利用者が適切な栄養情報を得ることができる          環境整備を目的に「栄養成分表示の店」の登録推進を行う。</p> <p>①「栄養成分表示の店」推進事業の周知（HP 等）</p> <p>②登録業務：登録希望店から提出された届出書・栄養算定表・栄養表示例を確認          登録公表（HP 掲載、ステッカー発行）</p>
評価指標	「栄養成分表示の店」登録件数
事業評価 の視点	<p>目標：市民の快適な食生活や良好な健康づくりの環境整備ができる。</p> <p>登録数：56 件（登録店を小樽市 HP、北海道 HP にて紹介）</p> <p>達成度：登録店の増加</p>

## 1 1 食事バランスガイド活用の推進

### 【平成 25 年度評価】

施 策	食事バランスガイドを参考にしたい割合の増加（食育）
事業名	栄養改善事業
内 容	<p>情報提供：①特定給食施設・給食施設の栄養管理担当者研修会</p> <p>普及啓発：②小樽市食生活改善推進員養成講座</p> <p>③生活習慣病予防ミニ講座</p> <p>④キッズクッキング</p> <p>⑤離乳食講習会</p> <p>⑥プロから学ぶ食育講座</p> <p>⑦小樽市食生活展</p> <p>⑧健康教育</p> <p>⑨栄養相談</p>
事業評価 の視点	<p>目標：バランスのよい食事をする市民の増加</p> <p>方法：食事バランスガイド普及リーフレット配布・説明</p> <p>達成度：食事バランスガイドを参考にしたい割合の増加 （食事の栄養バランスを意識し、改善しようと取り組む割合の増加）</p>
実績評価	食事バランスガイド普及のリーフレット配布数 3,000 枚

### 【平成 26 年度計画】

施 策	食事バランスガイドを参考にしたい割合の増加（食育）
事業名	栄養改善事業
内 容	<p>情報提供：①特定給食施設・給食施設の栄養管理担当者研修会</p> <p>普及啓発：②小樽市食生活改善推進員養成講座</p> <p>③キッズクッキング</p> <p>④離乳食講習会</p> <p>⑤プロから学ぶ食育講座</p> <p>⑥小樽市食生活展</p> <p>⑦健康教育</p> <p>⑧栄養相談</p>
評価指標	食事バランスガイド普及のリーフレット配布数：3,000 枚
事業評価 の視点	<p>目標：バランスのよい食事をする市民の増加</p> <p>方法：食事バランスガイド普及リーフレット配布・説明</p> <p>達成度：食事バランスガイドを参考にしたい割合の増加 （食事の栄養バランスを意識し、改善しようと取り組む割合の増加）</p>

1 2 悩みの相談窓口の周知・啓発推進

【平成 25 年度評価】

施 策	悩みの相談窓口の周知啓発推進
事業名	「こころの健康相談」周知啓発事業
内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 街頭啓発キャンペーンの実施</li> <li>2 相談援助技術専門研修事業の開催</li> <li>3 通常業務における普及啓発活動</li> </ol>
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 街頭啓発キャンペーンの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時期：年 2 回（8 月及び 11 月）</li> <li>・ 目的：市民に「こころの健康相談」事業の周知を図る</li> <li>・ 場所：長崎屋小樽店内及び都通り商店街周辺</li> <li>・ 内容：相談窓口紹介チラシを封入したポケットティッシュを市民に配付</li> <li>・ 配付数：2,000 枚</li> </ul> </li> <li>2 相談援助技術専門研修事業の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時期：10 月</li> <li>・ 目的：研修事業を通じて「こころの健康相談」事業の周知を図る。（相談技術の向上及び相談機関地域連携体制の拡充も兼ねる）</li> <li>・ 場所：小樽市医師会館</li> <li>・ 内容：保健、医療、福祉、介護、教育、雇用、民生委員、地域団体など、各分野の相談実務者を対象にした研修会を通じて普及啓発を図る</li> <li>・ 参加団体：40 団体</li> </ul> </li> <li>3 通常業務における普及啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時期：通年</li> <li>・ 目的：通常業務の様々な機会を捉えて「こころの健康相談」事業の普及を図る</li> <li>・ 場所：健康教育の際にチラシ配付、啓発用チラシを保健所玄関口に常備等</li> <li>・ 配付数：500 枚</li> </ul> </li> </ol>
実績評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 街頭啓発キャンペーン（年 2 回）の実施により市民 2,000 人へ周知</li> <li>2 相談援助技術専門研修事業を通じて 46 団体（107 名）へ普及啓発</li> <li>3 通年、業務における普及啓発活動においてチラシ 500 枚を配付</li> </ol>

【平成 26 年度計画】

施 策	悩みの相談窓口の周知啓発推進
事業名	「こころの健康相談」周知啓発事業
内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 街頭啓発キャンペーンの実施</li> <li>2 相談援助技術専門研修事業の開催</li> <li>3 通常業務における普及啓発活動</li> </ol>
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 街頭啓発キャンペーンの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時期：年 2 回（8 月及び 11 月）</li> <li>・ 目的：市民に「こころの健康相談」事業の周知を図る</li> <li>・ 場所：長崎屋小樽店内及び都通り商店街周辺</li> <li>・ 内容：相談窓口紹介チラシを封入したポケットティッシュを市民に配付</li> <li>・ 配付数：2,000 枚</li> </ul> </li> <li>2 相談援助技術専門研修事業の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時期：10 月</li> <li>・ 目的：研修事業を通じて「こころの健康相談」事業の周知を図る。（相談技術の向上及び相談機関地域連携体制の拡充も兼ねる）</li> <li>・ 場所：小樽市医師会館</li> <li>・ 内容：保健、医療、福祉、介護、教育、雇用、民生委員、地域団体など、各分野の相談実務者を対象にした研修会を通じて普及啓発を図る</li> <li>・ 参加団体：50 団体</li> </ul> </li> <li>3 通常業務における普及啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時期：通年</li> <li>・ 目的：通常業務の様々な機会を捉えて「こころの健康相談」事業の普及を図る</li> <li>・ 場所：健康教育の際にチラシ配付、啓発用チラシを保健所玄関口に常備等</li> <li>・ 配付数：500 枚</li> </ul> </li> </ol>

### 1 3 効果的な歯磨きの普及

#### 【平成 25 年度評価】

施 策	効果的な歯磨きの普及
事業名	効果的な歯磨きの普及事業
内 容	1 関係団体のイベント（むし歯予防デー、いい歯の日）における普及啓発 2 歯磨き教室（介護士等を対象とする） 3 ヘルシースマイル教室などで市民を対象とする歯磨きチェック
事業評価 の視点	歯磨き教室 歯周病チェックリストと歯磨き情報を 1 枚のリーフレットにして配布。 リーフレットによる歯磨き情報提供 （1,600 枚） 中間評価の際にアンケートを行う。
実績 評価	1 歯磨きについてのリーフレット(チェックリストの裏面利用)配布 1,600 枚 健康クイズ 500、歯科医師会イベント 100、幼稚園 1000 に配布 歯科医師会イベントで、歯磨き動画上映 2 教室開催(9月～10月)。参加者 2回 20名に対し、歯磨き指導 ヘルスマイト生涯学習講座 45人に対し歯磨き指導 地域包括支援センター、介護予防フェア 26人に対し歯磨き指導

#### 【平成 26 年度計画】

施 策	効果的な歯磨きの普及
事業名	効果的な歯磨きの普及事業
内 容	効果的な歯みがきについて情報提供 リーフレット作成 パワーポイントスライド作成 歯磨き教室
評価指標	歯磨きリーフレット配布枚数 昨年と対象を変え健康教育等でも配布する （目標 2,000 枚）
事業評価 の視点	リーフレットの内容、配布対象、配布方法の検討 特に健康教育の際に利用しやすいものにする リーフレット配布枚数 中間評価の際にアンケートを行う。



#### 14 歯周病セルフチェックの普及

##### 【平成 25 年度評価】

施 策	歯周病セルフチェックの普及
事業名	歯周病セルフチェックの普及事業
内 容	歯周病セルフチェックを配布する。 1 健康クイズの回答に同封 2 市職員健診の案内に同封 3 歯科医師会イベントの際に配布 4 保育施設歯科健康教育の際に配布 5 幼稚園の協力により配布
事業評価 の視点	協力団体との関係を維持する。 セルフチェック内容、対象、配布方法等について検討し、改善する。 セルフチェックリスト配布枚数を記録する。 中間評価アンケートを行う。
実績評価	セルフチェック配布数 4,500 枚 歯周病セルフチェックの配布に際しては、保育施設 1400 枚 幼稚園 1000 枚、 市職員課 1400 枚、健康クイズ 500 枚 配布した。 歯科医師会のイベントでは、保健所が行う事業の一環として、200 枚配布した。

##### 【平成 26 年度計画】

施 策	歯周病セルフチェックの普及
事業名	歯周病セルフチェックの普及事業
内 容	歯周病チェックリストの配布 新たな対象として健康増進課が行う健康教育の際に配布する。
評価指標	チェックリスト配布枚数 H25 年度配布枚数は 4,500 枚 (実績) H26 年度は、配布対象を変え、主に成人の健康教育の際に配布 2,000 枚 (見込み)
事業評価 の視点	新たに、健康教育受講者を配布対象とする。 セルフチェックリストの配布対象や方法等について、検討し改善する。 特に健康教育の際の配布についての依頼手順を決める。 配付数を記録する。 中間評価でアンケートを行う。

15 むし歯のない3歳児を増やす

【平成25年度評価】

施策	むし歯の無い3歳児を増やす（80%以上）
事業名	子供のむし歯予防対策事業
内容	<p>① 3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物歯面塗布経験児を現状の27.4%から40%以上に増加させるため、あらゆる歯科口腔保健事業（乳幼児健診、小児歯科相談、所外施設健診、健康教育等）の場で、定期受診の必要性和効果についての情報提供を行う。</p> <p>〔方法〕ア. フッ化物歯面塗布利用者へ次回塗布予定月のお知らせを工夫 イ. 塗布回数とむし歯の減少についての情報提供を行う</p> <p>② 小樽の子供のむし歯の罹患型において、A型（上前歯あるいは奥歯のみのむし歯）が20.2%あり、他都市（22年度札幌市13.4%、旭川市14.1%、函館市15.1% 全国政令市・特別区平均13.2%）に比べて高いため、上の前歯のむし歯予防対策を行う。</p> <p>〔方法〕ア. 1歳6か月児健康診査時にリスク診断を行い、養育者へフロッシング指導を実施 イ. フロッシングとむし歯の関連性について情報提供を行う</p>
事業評価の視点	<p>他機関との連携（福祉部子育て支援課・子育て支援団体・児童福祉施設）</p> <p>①②それぞれの目標値を設定し、経年的に数値評価。</p> <p>①の取組</p> <p>ア. 歯科口腔保健事業開設時にフッ化物歯面塗布児の養育者へ次回のお知らせメモを母子健康手帳に添付（実績1,489人）</p> <p>イ. フッ化物とむし歯予防についての情報提供リーフレットを配布（実績2,836枚）</p> <p>②の取組</p> <p>ア. 1歳6か月児健診時にリスク診断によるフロッシング指導を実施（実績260人）</p> <p>イ. フロッシングについての情報提供リーフレットを配布（実績3,407枚）</p>
実績評価	<p>むし歯のない3歳児を80%以上にする⇒実績値79.3%（調査時69.8%）</p> <p>①3回以上のフッ化物歯面塗布経験児を40%以上に⇒実績値40.9%（調査時27.4%）</p> <p>②上の前歯のみのむし歯（AF型）を7%以下に⇒実績値11.5%（調査時13.5%）</p>

【平成 26 年度計画】

施 策	むし歯の無い 3 歳児を増やす (80%以上)
事業名	子供のむし歯予防対策事業
内 容	<p>① 3 歳児健康診査までに 3 回以上のフッ化物歯面塗布経験児の割合を 40%以上(平成 25 年度実績 40.9%)に維持するため、あらゆる歯科口腔保健事業の場で、定期受診の必要性和効果について、引き続き情報提供を行う。</p> <p>〔方法〕ア. フッ化物歯面塗布利用者への次回予定月のお知らせを工夫 イ. 塗布回数とむし歯の減少についての情報提供リーフレットを配布</p> <p>② 小樽の子供のむし歯の罹患型において、A 型(上前歯あるいは奥歯のみのむし歯)が 14.1%(平成 25 年度値)あり、他都市(参考値: 24 年度札幌市 12.5%、旭川市 10.4%、函館市 16.3% 全国政令市・特別区平均 11.8%)に比べて高い罹患率であるため、引き続き、上の前歯のむし歯予防対策を実施する。</p> <p>〔方法〕ア. 1 歳 6 か月児健康診査時に養育者に児へのフロッシング指導を実施 イ. 口腔ケアについてのリーフレットを配布</p>
評価指標	<p>むし歯のない 3 歳児を 80%以上にする (前年度実績値 79.3%)</p> <p>① 3 回以上のフッ化物歯面塗布経験児の増加⇒40%以上を維持 (前年度実績 40.9%)</p> <p>② 上の前歯のみのむし歯 (AF 型) ⇒7%以下にする (前年度実績 11.5%)</p>
事業評価 の視点	<p>スタッフの人数⇒職員 2 名 (歯科医師、歯科衛生士)、嘱託 3 名 (歯科衛生士)</p> <p>他機関との連携⇒福祉部子育て支援課・子育て支援団体等・児童福祉施設</p> <p>①②それぞれ目標値を設定し、経年的に数値評価。</p> <p>3 歳児健康診査受診時に、アセスメントを実施し、フロス定着者、定着困難者の理由を探り、今後の取組に活用する (今年の 10 月から 1 歳 6 か月児健康診査受診時にフロッシング指導を実施した児の養育者が 3 歳児健康診査に来所する)</p> <p>①の取組</p> <p>ア. (ア) 母子健康手帳へのお知らせメモを添付数 1,500 人 (見込み) (イ) 保育施設児への健診結果票へのお知らせスタンプ押印 1,500 人 (見込み)</p> <p>イ. 塗布回数とむし歯減少についてのリーフレットを配布 2,800 枚 (見込み)</p> <p>②の取組</p> <p>ア. フロッシング指導数 260 人 (見込み)</p> <p>イ. 口腔ケアについてのリーフレットを配布 3,400 枚 (見込み)</p>

16 思春期の健康教育の推進

【平成 25 年度評価】

施 策	思春期健康教育の推進
事業名	思春期健康教育事業
内 容	<p>1 市内小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIV を始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施</p> <p>2 高校生を対象にエイズ及び妊娠と避妊についての知識に関するクイズを実施</p> <p>3 思春期教育の推進について関係機関との連携強化</p>
事業評価 の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施学校数、参加者数、従事スタッフ数、関係機関との連絡状況</li> <li>●健康教育内容に係るアンケートの実施</li> <li>●高校生用市民健康意識調査のエイズ、妊娠及び避妊に関する設問を実施</li> <li>●前回実施した高校生用市民健康意識調査を 5 年目と 10 年目の評価の際に実施</li> </ul>
評価	<p>実施学校数 中学校 3 年生を対象とした健康教育 5 校 小学校 6 年生を対象とした健康教育 10 校 (参考) 全実施数 32 校 (上記実施数を含む)</p> <p>性 18 (高校 4 中学 6 小学 7 その他 1) たばこ・薬物 12 (中学 1 小学 11) こころ 2 (高校 1 小学 1)</p> <p>参加者数 2,254 人</p> <p>関係機関との連絡状況 5 月 小中学校校長会にて事業周知 2 月 小中学校校長会にて実績、次年度事業周知 アンケート実施 (「説得力がありわかりやすい話だった」などの感想あり)</p>

【平成 26 年度計画】

施 策	思春期健康教育の推進
事業名	思春期健康教育事業
内 容	<p>1 市内小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIV を始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施</p> <p>2 健康教育内容に係るアンケートの実施</p> <p>3 思春期教育の推進について小中校長会にて周知</p>
評価指標	思春期健康教育 実施学校数の増加
事業評価 の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施学校数、参加者数、小中学校との連絡状況</li> <li>●健康教育内容に係るアンケートの内容</li> <li>●チャレンジ健康クイズー一般市民の飲酒・喫煙・エイズの知識について設問予定</li> </ul>

17 麻しんワクチンの推進

【平成 25 年度評価】

施策	麻しんワクチン接種の推進																																											
事業名	麻しんワクチンの接種率向上																																											
内容	<p>1 対象児への勧奨（啓発、個別案内送付、未接種児への電話勧奨、） 対象：麻しん1期、2期対象児</p> <p>2 関係機関を通じて普及啓発（チラシ、ポスターの配布） 対象：保育所・幼稚園、教育委員会、子どもが多く集まる場所（ちびっこフェスティバル等）他</p> <p>・第1期</p> <p>①赤ちゃん訪問時接種勧奨（全戸訪問、通年） ②乳児健診・相談時接種勧奨（10か月健診・総合相談等、通年）</p> <p>・第2期</p> <p>①幼児健診・相談時接種勧奨（1歳6か月健診・総合相談等、通年） ②対象児に個別通知（勧奨文書及び予診票送付） ③市内保育所・幼稚園等にポスター・チラシ配布 ④就学時健診時チラシ配布 ⑤（新）未接種児に電話勧奨 ⑥未接種児に個別通知（勧奨文書）</p>																																											
事業評価の視点	<p>1 対象児への勧奨 目標：保護者が麻しん接種の必要性について理解でき、適切な時期に接種ができる 評価の視点：接種率 資料配布数 電話連絡・個別通知の効率化（働きかけ後の接種者の増加状況） 麻しん接種の必要性の理解</p> <p>2 関係機関を通じて普及啓発 目標：多くの機会を通じて麻しん接種の必要性について情報発信ができる 関係機関に対して麻しん対策の意識づけができる 評価の視点：協力依頼機関数 依頼先の妥当性 チラシ・ポスター配布数 接種率</p>																																											
実績評価	<p>1 対象児への勧奨（①～③、⑤～⑦：健康増進課 ④：保健総務課） <b>接種率：平成 26 年 2 月現在</b></p> <table border="1" data-bbox="368 1868 839 2040"> <thead> <tr> <th colspan="5">第1期MRワクチン接種率</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>接種数 累計(人)</th> <th>対象者(人)</th> <th>H26.2月末 接種率(%)</th> <th>年度末 接種率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>551</td> <td>677</td> <td>81.4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>618</td> <td>702</td> <td>88.0</td> <td>103.0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="898 1868 1369 2040"> <thead> <tr> <th colspan="5">第2期MRワクチン接種率</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>接種数 累計(人)</th> <th>対象者(人)</th> <th>H26.2月末 接種率(%)</th> <th>年度末 接種率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>591</td> <td>752</td> <td>78.6</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>641</td> <td>836</td> <td>76.7</td> <td>93.6</td> </tr> </tbody> </table>				第1期MRワクチン接種率					年度	接種数 累計(人)	対象者(人)	H26.2月末 接種率(%)	年度末 接種率(%)	H25	551	677	81.4	—	H24	618	702	88.0	103.0	第2期MRワクチン接種率					年度	接種数 累計(人)	対象者(人)	H26.2月末 接種率(%)	年度末 接種率(%)	H25	591	752	78.6	—	H24	641	836	76.7	93.6
第1期MRワクチン接種率																																												
年度	接種数 累計(人)	対象者(人)	H26.2月末 接種率(%)	年度末 接種率(%)																																								
H25	551	677	81.4	—																																								
H24	618	702	88.0	103.0																																								
第2期MRワクチン接種率																																												
年度	接種数 累計(人)	対象者(人)	H26.2月末 接種率(%)	年度末 接種率(%)																																								
H25	591	752	78.6	—																																								
H24	641	836	76.7	93.6																																								

### **資料配布数**

①ちびっこフェスティバル：参加人数 299 人（保護者 138 人、子ども 161 人）  
チラシ配布枚数：163 枚

②10 か月児健診受診時にチラシ・シールを配布 年間 24 回実施、647 人対象

### **電話連絡・個別通知の効率化（働きかけ後の接種者の増加状況）**

③第 1 期 MR ワクチン未接種者への電話勧奨

・対象人数 67 人（H25. 4 月～H26. 1 月時点）実施人数 67 人

・67 人中、未接種への該当数 45 人中 16 人が勧奨後に接種済（H26. 1 月末時点）

④第 2 期末接種者への接種勧奨の葉書送付（12 月下旬）

葉書送付数：295 枚

### **麻しん接種の必要性の理解**

⑤こんにちは赤ちゃん訪問、その他の母子訪問時勧奨 [第 1 期]

⑥乳幼児健診時、未接種児に対し未接種理由の確認、任意接種の情報提供（1 歳 6 か月児健診、3 歳児健診時 年間各健診 24 回実施）[第 1 期]

⑦乳幼児各種相談時勧奨 [第 1・2 期共通]

2 関係機関を通じて普及啓発（①：健康増進課 ②：保健総務課）

### **協力医療機関数、チラシ・ポスター配布数**

①市内保育所、幼稚園（52 か所）

ポスター配布数：52 枚 チラシ配布数（第 2 期対象）：930 枚

②予防接種委託医療機関（30 か所）

下記の【今後の啓発予定】を参照

③教育委員会～就学時健診時勧奨チラシの配布を依頼（9 月上旬）

チラシ配布数：746 枚

### **依頼先の妥当性**

夏季は対象者の保護者の訪れる保育所・幼稚園だったが、冬季は第 2 期 MR ワクチン接種期限中の接種の更なる勧奨のため、医療機関受診時に保護者へ周知予定。

#### **【啓発】**

1 対象児への勧奨：第 2 期 MR ワクチン未接種者への電話勧奨（2 月末～3 月初実施）

2 関係機関を通じて普及啓発

・予防接種委託医療機関（30 か所）への第 2 期 MR ワクチンの接種期間の PR ポスター配布（2 月下旬）

・予防接種週間パネル展示（3 月 1 日～7 日まで）

【平成 26 年度計画】

施 策	麻しんワクチン接種の推進
事業名	麻しんワクチンの接種率向上
内 容	<p>1 対象児への勧奨（啓発、個別案内送付、未接種児への電話勧奨、） 対象：麻しん 1 期、2 期対象児</p> <p>2 関係機関を通じて普及啓発（チラシ、ポスターの配布） 対象：保育所・幼稚園、教育委員会、子どもが多く集まる場所（ちびっこフェスティバル等）他</p> <p>・第 1 期</p> <p>①赤ちゃん訪問時接種勧奨（全戸訪問、通年）</p> <p>②乳児健診・相談時等の接種勧奨（10 か月児健診・総合相談、転入者へ予診票配布時）</p> <p>③未接種児に電話勧奨</p> <p>・第 2 期</p> <p>①幼児健診・相談時接種勧奨（1 歳 6 か月健診・総合相談等、通年）</p> <p>②対象児に個別通知（勧奨文書及び予診票送付）</p> <p>③市内保育所・幼稚園、関係機関等にポスター・チラシ配布</p> <p>④就学時健診時チラシ配布</p> <p>⑤未接種児に電話勧奨</p> <p>⑥未接種児に個別通知（勧奨文書）</p>
評価指標	MR ワクチン第 1 期・第 2 期 接種率 95%以上
事業評価 の視点	<p>1 対象児への勧奨 目標：保護者が麻しん接種の必要性について理解でき、適切な時期に接種ができる</p> <p>評価の視点：接種率 電話連絡・個別通知の実施数（働きかけ後の接種者の増加状況） 資料配布数 麻しん接種の必要性の理解</p> <p>2 関係機関を通じて普及啓発 目標：多くの機会を通じて麻しん接種の必要性について情報発信ができる 関係機関に対して麻しん対策の意識づけができる</p> <p>評価の視点：協力依頼機関数 依頼時期、依頼先の考察 チラシ・ポスター配布数 接種率</p>

18 チャレンジ！健康クイズ

【平成 25 年度評価】

施 策	チャレンジ！健康クイズ
事業名	チャレンジ！健康クイズ事業
内 容	<p>1 「チャレンジ！健康クイズ事業」の推進          対象：市内在住の 20 歳以上の市民、男女 500 人。（住民基本台帳より無作為抽出）          方法：対象者に「チャレンジ！健康クイズ」を送付し、対象者は返信用封筒により返送期間内に回答用紙を返送する。後日、回答用紙のコピー、自己採点用の正解（解説付）、健康情報を郵送する。回答未返送者には、自己採点用の正解（解説付）、健康情報を郵送する。          時期：6 月～9 月</p> <p>2 「チャレンジ！健康クイズ」の周知          対象：市民等          方法：保健所のHPに掲載の他、広報等を活用して広く周知を図る。          時期：6 月～27 年 3 月</p>
事業評価 の視点	<p>1 「チャレンジ！健康クイズ事業」の推進          目的：健康づくりについて、より多くの市民に情報を提供するため「チャレンジ！健康クイズ」を郵送し、クイズに回答しながら楽しく健康づくりについての知識を身につけていただくことを目的に実施する。          到達度：健康情報の提供数。</p> <p>2 「チャレンジ！健康クイズ」の周知          保健所のHPに掲載の他、広報等を活用して広く周知を図る。</p>
実績 評価	<p>1 「チャレンジ！健康クイズ事業」の推進          健康情報の提供数 487          回答返送数 139</p> <p>2 「チャレンジ！健康クイズ」の周知          保健所ホームページに掲載。          健康教育等での配布数 138（26 年 1 月末現在）</p> <p>「チャレンジ！健康クイズ事業」については、小樽食生活改善協議会の協力のもと、対象者 500 人に健康クイズを発送し、その中の 487 人に健康情報の提供を行った。また、健康クイズの回答返送数は 139 で回収率は 27. 8%だった。          周知については、保健所のHPに掲載して周知に努めた。          その他、健康教育等の機会を活用し健康クイズを配布し周知に努めた。</p>